

Title	表紙
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学大学院社会学研究科
Publication year	2004
Jtitle	慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要：社会学心理学教育学： 人間と社会の探究 (Studies in sociology, psychology and education : inquiries into humans and societies). No.58 (2004. )
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN0006957X-00000058--001">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN0006957X-00000058--001</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 人間と社会の探究

慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要

社会学 心理学 教育学

第 58 号

2004 年

## 内 容

論 文		
先住民の表象と言説——スリランカのウェッダーの場合——	鈴木正崇	1
歴史の創成と歴史家——能登の地方史をめぐる——	市田雅崇	19
大衆文化の展示——見世物看板写真集を事例として——	門傳仁志	33
台湾の地方祭祀にみる民俗的健康観		
——小琉球における王爺の迎王祭典の事例から——	藤野陽平	47
江戸・東京における寺子屋師匠の筆道修業について		
——「筆塚師家人名録初編」と「開学明細書」を対照して——	藤田 薫	59
平成 15 年度大学院高度化推進研究費助成金報告		
子ども家族支援の相互行為論的研究	松木洋人	71
社会的ネットワークの構造と力		
——育児におけるネットワークのサポート効果に関する実証的研究——	松田茂樹	74
子どもから大人への移行期に生じる心理社会的問題		
——広汎性発達障害の二次的障害への援助を中心に——	須田 誠	77
日本家族社会学の社会学		
——小山隆とアメリカ社会学との関係から——	水野宏美	81
観光地における〈歴史〉の役割		
——鎌倉を事例として——	高岡文章	86
近代日本における兵役拒否・兵役忌避・徴兵逃れ祈願	三上真理子	88
1950 年における知識人と民衆意識に関する社会史的研究	和田 悠	91
エスニシティと暴力の記憶		
——アッサムの反外国人運動におけるアイデンティティの構築——	木村 貞希子	94
北・南/体壁系・内蔵系		
——「身体の 2 重性」——	松尾 信明	98
言語知識のメカニズムの解明		
——日本語相互表現をめぐる——	小町 将之	101
構音抑制が単語の対連合学習に与える影響	佐々木 尚	103
自己説明の発話効果	伊藤 貴昭	104
記憶の行動分析、もしくは心的概念を用いない行動的分析的記憶研究の探求	小平 英治	110
光トポグラフィを用いたヒトの脳内における数の処理過程の検討	東島 仁	114
近赤外分光法による指パターン運動中の前頭葉賦活の時間分析	斎藤 光太郎	117
学 事 報 告		

慶應義塾大学大学院社会学研究科

東京都港区三田